

# 令和5年度地震・津波防災訓練 (内閣府・福島県広野町)

## 実施報告書 (概要版)

### 福島県広野町について

福島県広野町は福島県浜通りの南部にある自然豊かなまちである。太平洋と里山に囲まれた市街地には生活に必要な施設がコンパクトにまとまっていて「田舎すぎない田舎」である。

東北地方には寒いイメージがあるが、広野町は温暖で寒暖差が少ない気候で冬場でも積雪がほとんどなく一年通して過ごしやすい。

農業では水稻に力をいれており「ひろの米」などの特別栽培米などがある。東北ではめずらしくみかんやバナナも栽培されていて6次化商品づくりにも取り組んでいる。

そんな広野町を2011年3月11日14時46分、三陸沖を震源とする国内観測史上最大規模の大地震(M9.0)が襲った。東日本大震災である。広野町は2分程度の激しい横揺れに襲われ、震度6弱を観測した。

地震発生からおよそ45分後に推定9mの津波が押し寄せ、沿岸部において甚大な被害をもたらした。まちの電気や上下水道などのライフラインは壊滅状態に陥った。

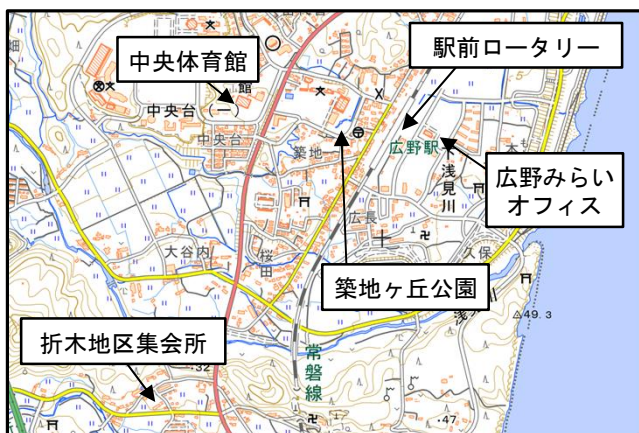
広野町は復興に向けて、海岸堤防のかさ上げ、防災緑地、道路、土地利用の再編など複数の整備手法を組み合わせた「多重防御」による津波高潮対策等に取り組み、「総合的な防災力の高いまちづくり」に向けて機能強化を図った。

さらに、大震災の翌年2012年から毎年、防災訓練を実施して防災力の向上に努めている。

【福島県広野町の所在地】



【訓練実施会場(5ヶ所)の所在地】



出典：国土地理院

## 訓練概要

- 訓練想定：令和5年10月22日午前9時30分に福島県沖を震源とする震度5弱の地震が発生し、沿岸部に津波警報が発令され、津波から避難するため、一時避難場所である「築地ヶ丘公園」・「折木地区集会所」へ早急に避難をする必要がある。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和5年 9月23日(土)13:00～15:00  
【地震・津波防災訓練】令和5年10月22日(日) 9:00～12:00  
【訓練実施後WS】 令和5年12月 2日(土)13:30～15:30
- 主催：広野町／広野町消防団／広野町婦人消防隊
- 共催：内閣府／福島県
- 参加者数：訓練実施前WS：11名／訓練：180名／訓練実施後WS：11名
- 訓練項目：シェイクアウト訓練，津波避難訓練，避難テント開設訓練，専門家講話等
- 訓練の特色：東日本大震災の被災地として、津波の脅威を再確認するとともに関係機関と連携して実践的な避難訓練を行う。更に、宇都宮大学の近藤准教授（アドバイザー）に講話頂き、防災意識の高揚を図る。

## 訓練の成果

- 訓練実施前ワークショップでは、東日本大震災の被害状況を資料や映像等で再確認して避難の重要性について学ぶことができた。さらに、避難場所、避難経路、災害時に取るべき避難行動を確認することができた。
  - 地震・津波防災訓練では、一時避難場所への集合、指定避難所への避難、オフィスビルへの垂直避難を実施した。参加者は概ね津波到達想定時間内に避難を完了することができた。さらに、負傷者搬送訓練、要支援者の避難補助訓練、避難テント開設訓練等を行った。参加者は総合的な訓練を体験することができ、防災意識を高めることができた。
  - 訓練実施後ワークショップでは、訓練当日の避難行動を振り返り、今後の課題を抽出した。行政、地域、個人の防災活動の今後の取り組み内容を明確化できた。
- 【課題】
- チラシ等でワークショップと訓練の周知を図ったものの参加者数が少なかった。周知方法について検討が必要である。
  - 訓練参加者に津波到達想定時間内に避難完了できなかった人がいた。また、避難経路上に危険個所があるとの指摘があった。原因の把握と代替となる避難場所、避難経路の検討が必要である。
  - 要支援者の避難に対して、共助と公助それぞれの支援範囲、役割分担について調整する必要がある。
  - 新たに安否確認訓練の要望があった。仕組み、体制等を検討する必要がある。

令和5年9月23日(土) 13:00～15:00 訓練実施前ワークショップ

- ・参加者をグループ分けしてアドバイザーの指導の下で「東日本大震災の津波被害」「自主防災組織」「避難経路」に関するグループワーク等に取り組んだ。
- ・アドバイザー、広野町役場担当者らが各グループを回って活発な議論を促した。
- ・防災訓練に向けて参加者の防災への理解を深めた。

▼グループワークの取り組み



▼グループワーク発表



令和5年10月22日(日) 9:00～12:00 地震・津波防災訓練

- ・「令和5年10月22日午前9時30分に福島県沖を震源とする震度5弱の地震が発生し沿岸部に津波警報が発令された」との想定で、災害対策本部設置訓練、シェイクアウト訓練、垂直避難訓練、負傷者搬送訓練、津波避難訓練、避難テント開設訓練、専門家講話等が実施された。

- ・実施会場は広野みらいオフィス、駅東ロータリー、築地ヶ丘公園、折木地区集会所、中央体育館の5ヶ所である。

- ・広野みらいオフィスでは垂直避難訓練、駅東ロータリーでは負傷者搬送訓練に取り組んだ。

- ・一方、住民は自宅から一次避難所の築地ヶ丘公園と折木地区集会所に避難移動、その後、中央体育館に集合した。

- ・中央体育館では避難テント開設訓練、防災専門家による講話が行われた。

▼垂直避難訓練



▼負傷者搬送訓練



▼津波からの避難



▼要支援者の避難補助



▼避難テント開設訓練



▼防災専門家の講話



令和5年12月2日(土) 13:30～15:30 訓練実施後ワークショップ

- ・「防災訓練の振り返り」「訓練の位置付け」「訓練の課題」に関するグループワーク等に取り組んだ。

- ・最初に訓練を振り返ることによって、続く2テーマの議論が活発に展開された。

- ・訓練後ワークショップによって、参加者の防災訓練の効果が增强されるとともに、防災意識が更に高まった。

▼宇都宮大学 近藤准教授 (アドバイザー)の講話



▼グループワーク発表

